

平成21年度 薩摩川内市事務事業評価表

<b>1 事務事業の位置付け (Plan)</b>				内部評価者名 課長・室長・支所長	兼 芳章
事務事業名	英語力向上プラン事業(英語検定受験料助成)			担当者	児玉 恭子
所管部課名	教育部 学校教育課			事業の根拠 (根拠法令)	
事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設管理 <input type="checkbox"/> 内部管理				
総合計画上の 位置づけ	施策の 基本方針	政策 (章)	地域の特色を活かした教育・文 化のまちづくり	主要施策 (節)	幼児教育・学校教育等の充実
				施策 (項)	地域特性を活かした学校教育の推進
予算科目等	会計	一般会計		款	教育費
	項	教育総務費		目	教育振興費
	事項	教育育成費		細事項	教育育成費

**事業の概要**

本市中学生の英語力向上を図るため、市内在住の全中学生に英語検定試験の受験を促し、年3回実施される英語検定試験のうち第2回及び第3回の受験者を対象として、受験料を助成(全額公費負担)するもの。

**2 事務事業の実施 (Do)**

事業の内容	対象 (誰を,何を対象とする事業か)	市内中学生		事業開始年度		平成18年度		
	手段 (市がどのような活動をするか)	英語検定試験受験料の助成 (全額公費負担)	活動指標 (市として何を 行うか?)	指標名	英語検定試験受験料助成回数			
				最終目標値	英語検定試験受験率			
				最終年度	年1回			
	意図 (どのような目的で 事業を行うか)	市内全域の生徒の英語学習への意欲・ 関心を高め、英語力を高める。	成果指標 (活動をした上 で、目標となる 成果をどのよう に設定する か?)	指標名	英語検定3級合格率			
				最終目標値	「基礎・基本」定着度調査通過率			
最終年度				35%				
コスト・ 指標の 推移	項目	単位	平成19年度 決算	平成20年度 決算	平成21年度 (見込み)	平成22年度 (見込み)	平成23年度 (見込み)	
	事業費	国・県支出金	千円	0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
		一般財源		8,606	7,867	7,700	7,700	7,700
		合計(A)		8,606	7,867	7,700	7,700	7,700
	従事職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	人件費(B)	千円	800	800	800	800	800	
	従事嘱託員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	人件費(C)	千円	0	0	0	0	0	
	トータルコスト	千円	9,406	8,667	8,500	8,500	8,500	
	活動指標の推移	回/年	2	2	1	1	1	
%		96.8	97.4	97.5	98	98		
成果指標の推移	%	27.7	22.3	28	30	35		
	%	63.1	65.4	67	68.5	70		

**事業費の主な支出内容(事業内容がわかるよう、支出する主なものを記入してください)**

英語検定受験料(手数料)(100%)

**3 事業の視点別評価 (Check)**

対象・手段の妥当性     妥当である     改善の余地はある     妥当でない

妥当性	<input type="checkbox"/> かなり高い <input type="checkbox"/> 改善の余地はない <input type="checkbox"/> 全くはない (上記選択の理由) 英語検定試験は、全国共通の指標と問題により実施されるもので、実用性も高いため、生徒たちの英語力向上を図るには適切な試験であり、合格に向けての取組と可否結果は生徒たちの学習意欲の喚起につながるものとする。
	市が関与すべき妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 市で実施すべき <input type="checkbox"/> 民間でも可能 <input type="checkbox"/> 民間で実施すべき
効率性	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地はない (上記選択の理由) 市全体の英語力向上を図るためには、市が全面的に関与すべきである。また、中学校3年生レベルとされる3級の受験料が2300円であり、各家庭保護者の経済的負担も少ないため。
	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地はない (上記選択の理由) 担当者一人で行っているため、削減は難しい。
有効性	成果の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> かなり高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い (上記選択の理由) 3級の合格率はあまり向上していないが、全ての級の合格率の合計は上がりつつあり、また、「基礎・基本」定着度調査の通過率の推移から見ても、英語力の向上は図られつつあると思われる。
	成果の向上余地 <input type="checkbox"/> かなりある <input checked="" type="checkbox"/> ある程度ある <input type="checkbox"/> ほとんどない (上記選択の理由) 英語の学習法や受験級選択等の事前指導の改善を図れば、成果の向上の余地がある。
<b>4 事業の改革・改善の方向性 (Action)</b>	
内部評価 (一次)	今後の改革の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しの上で継続    今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合 <input type="checkbox"/> 手段の改善 <input type="checkbox"/> 移管 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	上記方向の理由 本事業開始時からすでに予算は削減されており、本年度からは受験料の補助は、一人の生徒が1年間のうちに一つの級を合格するまでという考え方で、第3回検定はそれまでに受験できていない生徒と、受験級に合格していない生徒を補助対象者としている。また、学校を通して、受験級選択を含む事前指導について指導しているので、現状を維持し、その成果を見たい。
	改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画
内部評価 (二次)	評価者名 内部評価結果 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い
	今後の改革の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しの上で継続    今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合 <input type="checkbox"/> 手段の改善 <input type="checkbox"/> 移管 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 上記の改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画(内部評価一次と違う部分)  英語検定試験受験料の助成基準の明確化  成果の制度的検証と、継続性の保障